

ふ ら ト 毛



u

m

m

e

r

vol.



12



2017

特集

教えて!

みんなの自宅練習のこと

ヤマハ音楽教室幼児科
保護者向け情報誌

音楽をとおして 育まれる創造性

ヤマハ音楽教室で育まれる力には
さまざまなものがあります。

音楽を聴き取り楽しむ力はもちろんのこと、
一人で歌う力、お友達と一緒に歌う力、
一人で演奏する力、お友達と一緒に演奏する力、
少し大きくなると、曲を作る力も育まれていきます。

さらにレッスンをとおしてさまざまなジャンルの歌や
曲に触れることで豊かな創造性を育むことができるのも
ヤマハ音楽教室の大きな特長のひとつです。

この曲はいったいどんな気持ちを表現している？

楽しいの？ 悲しいの？

曲の題名からどんな情景が想像できる？ などなど、
頭の中で豊かなイメージーションを膨らませることで、
「こんなふうに歌いたい！」「こんなふうに弾きたい！」
という積極的な気持ちが持てるようになります。
この気持ちこそが創造性の芽なのです。

この芽が豊かに育まれることで、将来、
音楽をとおして自在に自分の気持ちを表現
できるようになります。ヤマハ音楽教室では
このような創造性の育成を大切に考えています。

IN SUCH A CASE

それって こんなこと

幼児科で使用しているテキスト『ぶらいまりー』には、さまざまな曲が使われており、さらにそれぞれの曲にあわせて、多彩なイラストが描かれています。レッスンを通じて、先生たちは、そのひとつひとつのイラストを見ながら、子どもたちにさまざまな質問をします。「これって何だろう？」「これって何をしているところだと思う？」などなど。なぜかけられた質問について考えたり、曲そのものを聴いたり、歌ったりすることで、子どもたちは、どんどんその子なりのイメージを膨らませていきます。そういった過程を通じて、創造性は育てられていくのです。

ぶらトモってなあに？

みなさん、こんにちは。『ぶらトモ』は幼児科のお母さんお父さんたちと身近になりたい、仲よくなりたいという想いで2014年に発行されました。「『ぶらいまりー』のともだち」だから略して『ぶらトモ』です。よろしく願います！



PRIMARY

FRIENDS

OB&OG

INTERVIEW

ヤマハ音楽教室
OB & OG
インタビュー

*

MINO KABASAWA
加羽沢美濃さん

1972年生まれ。神奈川県出身。東京藝術大学大学院在学中の1997年に、コロムビアからCDデビュー。作曲家として、室内楽、合唱曲、吹奏楽や、テレビドラマ、映画音楽、舞台音楽など数多くの話題作を担当。「新・題名のない音楽会」「名曲リサイタル」「ららら♪クラシック」の司会も務めた。また、ピアニストとして高嶋ちさ子とのユニット「Chisa&Mino」を組み、全国で演奏活動を行っている。12月5日にはデビュー20周年コンサートを開催予定。

<http://www.minokabasawa.com/>

小さなころから
日記を書くように
ピアノで毎日
表現してました

星飛雄馬のような
熱血な日々

お母様が自宅でピアノの先生をしていた加羽沢美濃さん。小さいころから、「家に、きれいなお姉さんたちが生徒さんとしてやって来て、きれいな曲が流れてきて、私もピアノをやりたーい！」と、思ったのは何となく覚えているといいます。

とはいえ3才まではピアノに触らせてもらえず、おもちゃのピアノを使って、聴いたことがある曲を、指一本で弾いていたそう。それを見たお母さまが「耳がよいかも」と感じ、ヤマハ音楽教室に通うことに。「グループレッスンという切磋琢磨できる環境が、当時の自分には合っていたのだろうなと、大人になってから改めて感じています」という加羽沢さん。身

近な目標があると「頑張れるタイプ。負けず嫌いなんです」と自らを分析します。

「仲間とのレッスンや、発表会に出ている同じお教室の生徒さんを見ては、いつも『あーいふうに即興演奏できるようにになりたい』『あのステージに立ちたい』と思っていました」。

そんな加羽沢さんも2年生くらいになるとからJOC^{*}に参加し、舞台で自作の曲を演奏するようになります。それに、二人三脚で付き添っていたのがお母様で、「まるで星飛雄馬^{**}の父親のピアノ版かと思うくらい厳しかった」と加羽沢さん。

週末も、昼間はピアノの練習というのは日常茶飯事で、「それが普通だと思っていた」そう。「ピアノが上手に弾けなくて悲しくて泣きながら練習したことはありましたが、憧れのステー

ジに立つのがうれしくてうれしくて。そのためには、こういう苦労は必要なんだと思っていましたし、目標が見えていたので、頑張れたんだと思います。

ピアノと距離を置いた
中・高時代

ただあまりに頑張りすぎる母親を見るに見かねてお父さまが、「普通の小学生に戻りなさい」と、家族会議が開かれてピアノとは距離をおくことに。当時は演奏会や行事で学校を休んだり、学校の勉強も追い付いていないくらいだったそう。

それまで、いかにピアノ漬けだったかというエピソードとして、「公園に行ったら、すべり台で遊んだことがなかったの、すべり方が分からなくて上から落ちちゃいました」と笑います。それまでのレッスンをやめた

とはいえ、別にピアノが嫌いになったわけではなく、その後もピアノと作曲の先生について個人レッスンは続けていました。中学生時代は、学級新聞作りにはまり、全国の新聞コンクールで優勝したり。高校でも、個人レッスンは続けていましたが、学校生活では、音楽とは無縁に過ごします。

音大を目指し
再び作曲の道に

再び音楽に向き合うことになったのは高校2年生で、進路を考えたとき。

「作曲もピアノも細々と続けていたので、やっぱり音楽で大学に入りたい」と、ピアノの先生に相談します。

「小さいころから、ピアノを弾くことと作曲することは自分の中で同じことでした。でも大

COMMENT
FROM TEACHER

先生が当時を
振り返って
思うこと

*

私の教室に通ってきていたときは、小学校低学年で、素直でいつもニコニコしていて、可愛い女の子、という印象でした。ただ、宿題の曲作りなどは、すぐに作ってくるなど熱心で、どちらかというと情熱を内に秘めたタイプでした。才能があるな、というのは当時から感じさせられるものがあり、自分の作った曲で、JOCのコンサートなどにも、よく出演していました。その後、大人になってテレビ番組「題名のない音楽会」で司会をしていたのを見たときには、びっくりすると同時に、とてもうれしかったです。この先も、ますます活躍する姿を楽しみにしています。(壁真理子先生)



PRIMARY

FRIENDS

OB&OG

INTERVIEW



学では、どちらかを選ばなくてはいけない。悩みました」。

しかし、当時大人気で、ファンだったアーティストと一緒に仕事をしたかった、という夢もあったことから、進学先は音大の作曲科を目指すことに。

幼稚園のとき、ラフマニノフのピアノ協奏曲を聴いて、「どんなものを食べて、どんなものを見たなら、こんなキレイな音楽を作れるんだろう」と感動した記憶がある」という加羽沢さん。

「小学校時代も、『E・T』や、『おしん』のテーマ曲を聴いて、こういう音楽を書く人になりたいと思った。弾くことも好きですが、作曲の方に、より興味があつたのだと思います」。

作曲の理論を勉強するため、紹介してもらった先生には、「今から音大を目指すなら、浪人覚悟で」と言われ、1浪の末、

東京藝術大学に入学しました。

ふいに訪れる
チャンスは逃さない!?

「当時の作曲科のメンバーは、朝から晩まで学食に入りびたり。タバコの煙をもくもくさせた学生たちが、音楽談義をしているような雰囲気の中で、大学生活はすごく刺激的で楽しかった」という加羽沢さん。大学4年で、就職活動の相談を先生にしたところ、「まずは大学院に進んで、人脈を広げては」とアドバイスを受け、大学院へ。

大学院に通いながら、子どもに音楽を教えたり、レコード会社でアレンジをするアルバイトをしていました。

ある日、大学の先輩が、「ポツプスをピアノ曲にアレンジする仕事を頼まれたけど、忙しくて断った」という話を聞き、子ど

もにポップスをアレンジして教えていた加羽沢さんは、「私以上に向いている人はいない! 私がやりたい!」と、その仕事を紹介してもらいます。

アレンジした曲をレコーディングする日も、譜めくりのバイトとして参加。その休憩中に弾いた演奏が音楽事務所の人の目に留まり、デビューのきっかけになりました。

「チャンスがふいに訪れるんです。でも、そこで、自分ではできないと思って断るのではなく、すべてやりたい! できる! と思ってやってきたからこそ、今の私があるのだと思います」。

日記を書くように
ピアノを

幼稚園のころから、毎日歯磨きをして寝るのと同じ感覚で、「毎晩、かならず即興でピアノ

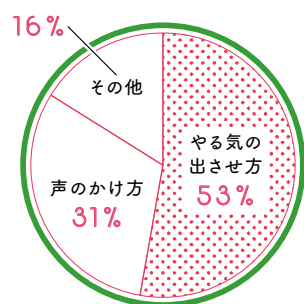
を弾いてから寝るんです。今日はこんなことがあって、こんな人と会ったとか、こんなおしゃべりして楽しかったとか。この時間が、一日の中で一番好きな時間。日記を書くみたいに、弾くことで気持ちが発散できるんです」という加羽沢さん。

幼児科のママやパパたちには、「親子で生のステージを見て、感動する心を育てあげてほしい。耳だけではなく、五感全体が刺激されて、さらに目標ができる」と、幼児科の練習も頑張れるはず」とアドバイス。

加羽沢さん自身、「もしかしら、厳しい環境に置かれていたのかもしれませんが、音楽が楽しいというのは、ずっと変わっていませんでした。お子さんが、音楽をすることが、楽しさや喜びにつながる環境をぜひ作ってあげてほしいと思います」。

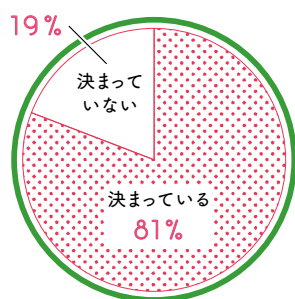
ママたちに聞きました！
みんなの自宅練習についてのアンケート

誌面作りに協力いただけると言ってくれた、
 ぶらトモ隊の約200名のみなさんに聞いたアンケートを集計！



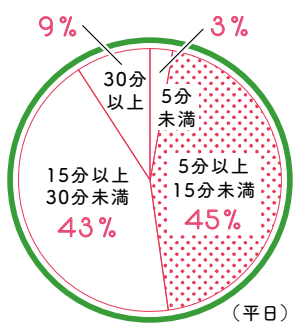
1 自宅練習での悩みは？

「自分から進んで練習しない」「声をかけても練習しない」という悩みが圧倒的。また「やりたくない」「練習したくない」と子どもが言ったときの対応の仕方に悩んでいるママも。



2 自宅練習での時間の長さは決まっている？

決まっている人が約8割。そのうち、時間帯については、朝(登園前)が一番多く約4割。次に、「園から帰宅後」「夕食前後」という回答がそれぞれ3割でほぼ同じ割合に。



3 一日の練習時間はどれくらい？

なかなか集中力が続かない年齢でもあるため、30分未満が9割を占め、なかでも5～15分という回答が4割強と最多。ちなみに休日も練習時間の傾向については、ほぼ同じに。

..... ADVISOR



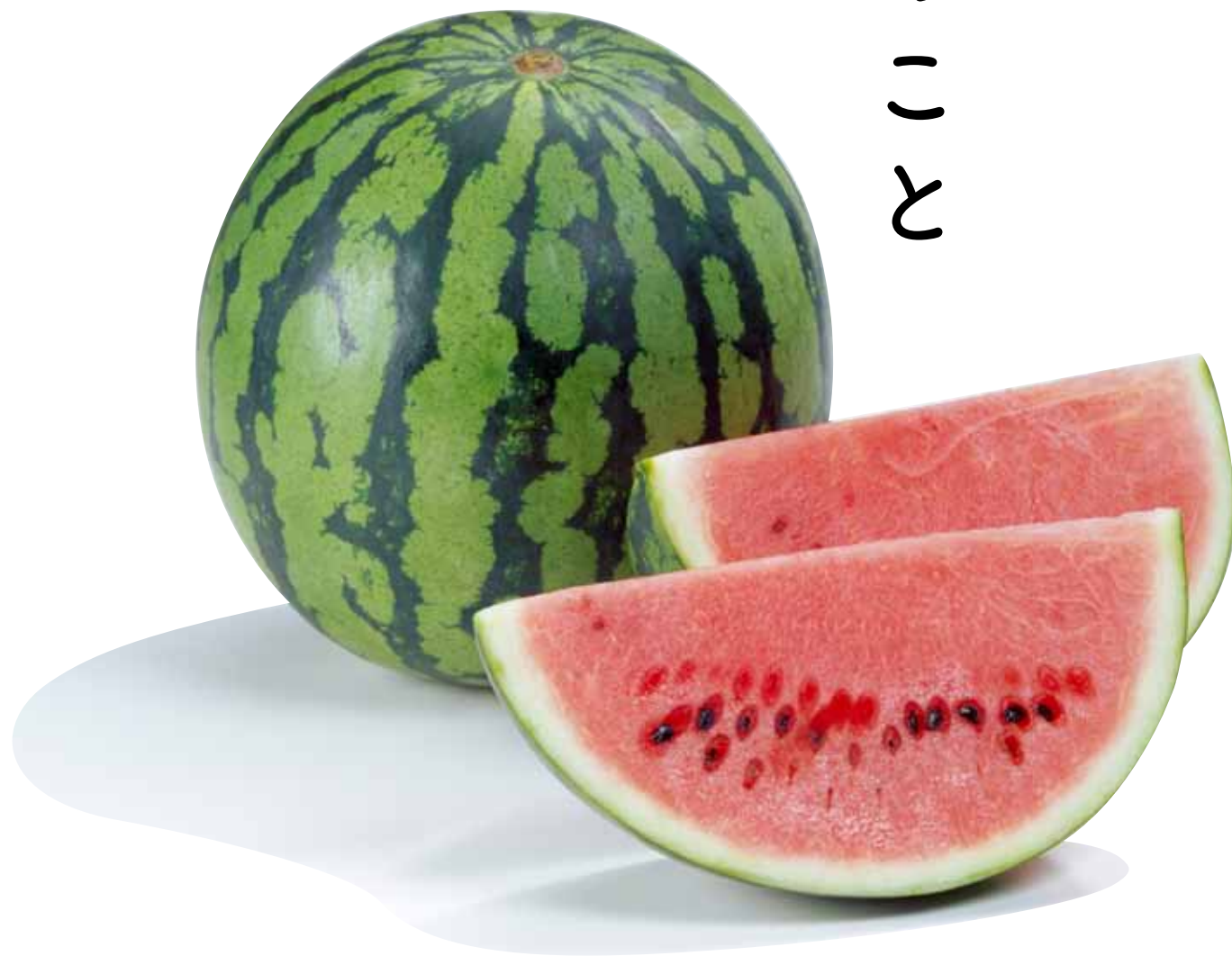
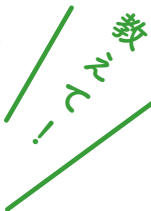
スター楽器
肥野由紀子先生

レッスンに関する電話相談も担当。「生徒の気持ちに寄り添ったレッスンをめざしています」。

レッスンは楽しく通っていても、自宅では練習しない！というみなさんからの声をよく耳にします。そこで、みなさんは自宅での練習をどうしているの？
 そんな様子をレポートします！

みんなの
自宅練習のこと

特集



姉や兄の協力もあって 練習に取り組み中!



佐竹拓音くん/泰志さん(大東楽器) 姉や兄の影響で幼児科からレッスンに。土曜日のレッスンなので、付き添いはお父さんが担当。



2番目のお姉ちゃんも監督中?



兄弟4人でヤマハに通っています!



お兄ちゃんの伴奏で歌っています。わからないことを教えてくれたりも。



中2のお姉ちゃん
の演奏はさすが!



宿題チェック中



宿題ができればシールを貼っていて、宿題専用のノートを用意しています(下)。



幼稚園から帰ってきたら姉や兄のいないうちに練習しないとピアノの取り合いになることも…。

6 人兄弟の下から2番目の拓音くん。「大人になっても音楽を楽しめる子どもになってほしい」と、中2の一番上のお姉ちゃんを筆頭に4人がヤマハに通っています。上の3人も幼児科からの経験者のため、拓音くんが練習していると一緒に歌ったり弾いたり、つまずいたところは教えてくれたりもします。宿題はノートを作って、終わったらシールを貼っています。この仕組みはお兄ちゃんのとよからの伝統で、ママがチェックをしています。

先生からのアドバイス 兄弟で歌と伴奏をはじめとしたアンサンブルを楽しみながら練習できるのは素敵ですね。



朝起きたら練習!を習慣にしています

井田朋希ちゃん/聖子さん(谷田楽器店) 3人姉妹の末っ子。真ん中のお姉ちゃんもヤマハに通っていて、ときには張り合うことも。

共働きのため、朋希ちゃん の練習タイムは、保育園 に行く前の朝に行なうと決めて いるそう。起きた順番に小2 のお姉ちゃんと順番にエレク トーンで練習をしますが、「と いつても10分くらいです」。

ママが練習を聴いて、気づいたことを注意すると「最近はお出しされるのがいやみたい。本人ができていないと思ったら、あまり口出しはしないようにしています」とのこと。

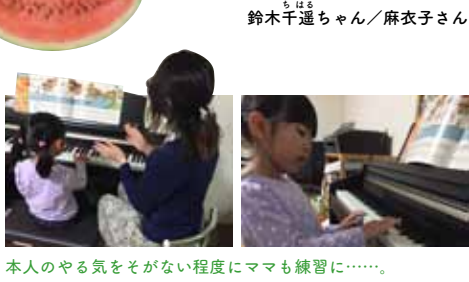
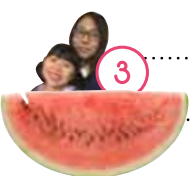
先生からのアドバイス 決まった時間に練習する習慣ができています。大人が見守ることも大事です。



できないときは、ママのアドバイスで、片手だけで練習。

あとは基本的にひとりで練習! ママと宿題を確認します。

まだ1年目! ママが 熱くならないように…



本人のやる気をそがない程度にママも練習に……。

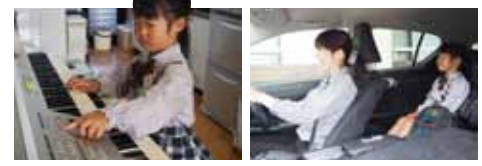
1 年目なので、あまり厳しくしないようにと思っていますが、同じ場所ですつかえていると、「つい「そこ……!」と言ってしまうがち。私が熱くなりすぎて、娘がやる気を損なわないよう気をつけています。

先生からのアドバイス 弾きにくい所は、レッスン中の先生のアドバイスを思い出せるような声かけをしてみよう。

時間をうまく活用して 自宅練習時間に!



鉄田桜菜ちゃん/温子さん



車内では、二人で思い切りお歌の練習!

平日は幼稚園の登園前に練習を。うまく弾けない曲は夕方にも練習します。登園中の車中は、お歌の時間。10分から15分、一緒に歌っています。母娘で「上手になりたいね」とコツコツ頑張っています。

先生からのアドバイス 弾けない曲は歌えない場合もあるので、歌う時間を大切にしているのはとてもいいですね。

できないときは、ほめて翌日に



田村優衣ちゃん/美絵さん(いけぶくろ楽器)
小1になって忙しくなりましたが、「ヤマハは続けたい」と言っているそう。



ぶらいまりノートも活用しています

レッスンで気が付いたことや宿題のメモも見ながら練習を。



ママと練習中!



1年目で習った曲など、弾ける曲は、調を変えて弾いたりも。



できないところはママと一緒にじっくり。

ホームワークは自分の部屋カリビングですることが多かったそう。

いつも夕食の前が練習時間
と決めて取り組んでいますが、「本人に任せていると5分で終わってしまうことも。私が見るときは、力が入ってしまつて30〜40分と長くなることもありました」とはママ。
うまく弾けないときは、ママが近くについて、その部分を丁寧に一緒に練習するそうです。
すねることもあるので「大体できていたら、その日はほめて終わることにして、『明日もう一度弾いたら、もっとうまくなるかも』と、翌日に促すようにしています」。

先生からのアドバイス
弾けるようになった曲をたくさん弾きこむことで、聴く力弾く力がますます育まれます。

まずは遊び弾きから!メリハリをつけて



伊藤朱音ちゃん/千佳さん



練習が終わったらおまかせのおやつタイム。

効

率は求めず、最初は遊び弾きでもOK。遊び弾きに飽きたら、宿題の曲を弾くように促し、うまくできたら「あと3回」と回数を指定。練習が終わったらおやつにするなど、メリハリをつけています。

先生からのアドバイス

遊び弾きは聴く力と弾きたい心が育っている表れ。具体的に回数など目標を示すのもいいですね。

定期的にパパの前で発表会!



宮澤つぐみちゃん/いずみさん



歌ってます



うしろのパパも真剣!

休

日は、パパの前で弾いてほめてもらおうと気分がのるようで、一生懸命練習し、パパに披露。私は楽器経験者なので、気になる点も多いのですが、パパは弾けないので、純粹に「すごいね!」と驚いてくれます。

先生からのアドバイス

パパに聴いてもらうことで本人もママもやる気アップ!祖父母などお客様に聴いてもらう気

リズムで自宅練習を



東島永恋ちゃん/悦子さん(大東楽器) 踊るのが好きで、2才からヤマハに。小6、小3の3人姉妹の末っ子。

1日5分×3回の

3

人姉妹でヤマハに通っているため、練習する順番を決めています。
「そうしないと楽器の取り扱いになることも……」とママ。

永恋ちゃんは朝と幼稚園から帰宅後、夜の3回が練習タイムだったそう。練習をしていないときは、とりあえずママが声をかけるそうです。「基本的には長女が声をかけて促してくれるなど、リードしてくれるので助かっています」。

先生からのアドバイス

リズムができる、今度は少しずつ練習内容や方法を工夫できるようにしていきます。

宿題をしたらカレンダーにシールを。



3姉妹でコンサートごっこ。司会役、演奏者役、講師役に分かれます。



ママと練習中!とはいえ、ママは見守るくらいだそうです。



THE WORLD OF
CHILDREN'S SONGS

" もりのくまさん "

ILLUSTRATED
BY
NAO TAKABATAKE

SCORE

" もりのくまさん "

作詞：馬場祥弘
作曲：アメリカ民謡
編曲：清澤久恵

※メロディーパートは、1オクターブ^{うえ}で弾きましょう。

♩=100

メロディー

伴奏

The musical score is written in 2/4 time with a tempo of 100. It consists of a melody line and an accompaniment line. The melody line starts with a treble clef and a key signature of one sharp (F#). The accompaniment line starts with a bass clef and the same key signature. The score is divided into four systems. The first system has a tempo marking of ♩=100 and a dynamic marking of *mf*. The second system has a dynamic marking of *mf*. The third system has a dynamic marking of *f*. The fourth system has a dynamic marking of *f*. The score includes various musical notations such as rests, eighth notes, quarter notes, and chords. The lyrics are written below the melody line.

How To PLAY
こうやって
遊ぼう！

人気絵本作家の高畠那生さんによる

くまさんと女の子がユーモラスな
描き下ろしのイラストです。

1年目のみなさんは、歌詞やドレミで歌ったり

2年目のみなさんはメロディーを歌いながら弾いても。

LYRICS

" もりのくまさん "

あるーひ（あるーひ） もりのなか（もりのなか）
くまさんに（くまさんに） であった（であった）
はなさく もりのみち くまさんに であった

くまさんの（くまさんの） いうことじゃ（いうことじゃ）
おじょうさん（おじょうさん） おにげなさい（おにげなさい）
スタコラ サッサッサのサ スタコラ サッサッサのサ

ところが（ところが） くまさんが（くまさんが）
あとから（あとから） ついてくる（ついてくる）
トコトコ トッコトッコト トコトコ トッコトッコト

おじょうさん（おじょうさん） おまちなさい（おまちなさい）
ちょーっと（ちょーっと） おとしもの（おとしもの）
しろい かいがら の ちいさなイヤリング

あらくまさん（あらくまさん） ありがとう（ありがとう）
おれいに（おれいに） うたいましょう（うたいましょう）
ラララ ララララ ラ ラララ ララララ ラ

いとえちゃん family の場合

スタートが幼稚園の入園と重なって不安も多かったけれど...

いとえちゃん
お友達
できるかな
私もママ達の輪に入れるかしら...
2年保育

もっというんな曲を上手に弾けるようになりたい!!

そんな気持ちが強くなって
いるのを感じます

ヤマハでも園でもお友達がたくさんできました

お友達との関わりも含めてヤマハが好きになってるみたい

1年前はあんなに不安だったのにね

練習もできるだけ毎日続けて...

なかなかわからず小區んだ日も

先にはかき進まなかつた

泣いて弾けなくて泣いて日もあった

この1年の成果を大きく感じています

弾くことがどんどん好きになって

和音をおさえたりもできるよ!!

通ってなければゼロだったものが

とっても上手~♡

週1回のレッスンと毎日の練習でこんなにもできるようになるなんてうれしい!!

News!!

ぶらトモファミリーは音楽教室フェイスブックページでも見られるようになりました!!

役立つ楽しい情報が満載!!

音楽教室FBページ

YAMAHA MUSIC FOUNDATION

こちらの URL の登録もよろしくお願ひします

ヤマハ
ぶらトモ family f
おっかけ日記

幼児科に通う親子2組に密着した
コミックエッセイ、2ndシーズン進行中です

フクチマミ マンガイラストレーター。2人の娘のママ、『マンガで読む 育児のお悩み解決 BOOK』(主婦の友社)も好評発売中。

この1年でどんな風に成長したか見てみましょう!!

ぶらトモ誌面とFBページにアップしていく連動企画です

幼児科2年目になりました!!

にこちゃん family

いとえちゃん family

実際に幼児科に通っている2家族のリポートをマンガにして

このヤマハぶらトモファミリーおっかけ日記は

こんにちはフクチマミです

お母さんと一緒にできてうれし♡

弟・まるくんのお世話中心の生活だったので

にこちゃん family の場合

最初は「一緒」を喜んでいただけると

にこちゃんメインでコミュニケーションを取るいいキッカケになるなあ

しばらくすると

自分で弾きたいから

と、変わってきました

最初は「ド」の音からのスタートだったけど

今では

五線譜のドレミもわかるようになって

右手と左手も違う動きで弾けるように

上手になったよねー

しみじみ

小さな「できた」をこの1年でたくさん積み上げていって

はじめて歌いだしたCDに歌わせてもらった
大きな歌を歌った
右手と左手がわかった
1の指でドを押した
どいかわいた

PURATOMO SQUARE
ぶらトモひろば

「ぶらトモひろば」では、全国の生徒のみんなや、お母さん・お父さんたちからのすてきなお便りを紹介したり、ヤマハ音楽教室にまつわる素朴な疑問に一生懸命答えたりするよ。もっとわたしたちのことを知ってほしいから。

ピアノを弾けるようになってほしいと思つてヤマハに入会したので、レッスンでは、どうしてエレク トーンを使うのか、ずっと気になつていました。
でも『ぶらトモ』vol.11を読んで納得しました。
今は、私の気持ちも、音楽が好きになつてくれたらという想いでい っぱい。そしてエレク トーンの多 彩な音色の虜です。(石川県あ いりママさん)

それぞれに 良さがあるよ!



3歳の時にヤマハのCMを見て、ピアノを習いたいと本人が言い出 してはじめて幼児科。
やりたい、というわりにはレッ スン中に遊んでしまうことも……。 でも絶対に、レッスンを休みたい と言ったり、休まないところは感 心しています。

緊張しやすくて、もじもじさん ですが、大きなステージで、みんな で歌った経験は、本人を少し成長

させてくれたみたいです。
本人は、保育園の先生みたいに 両手を広げたりして、ピアノを弾 けるようになりたいみたい! こ れからも頑張ろうね!(宮城県 ネロママさん)

弾いたり 歌ったり!



ちゃんと続くかな? と心配し ながら始めたヤマハ音楽教室も、 幼児科の2年があつという間に終 わろうとしています。そして、娘 は2年間、毎回レッスンを楽しみに していました。

早く弾けるようになりたくて、 家でも毎朝必ず練習するようにな りました。4月から小学生になる ので、朝の練習は難しくなりそう ですが、今後も楽しく音楽を続け ていってほしいと思います。(群 馬県 なつみかんさん)

小学生になつても 応援してるよ!



MY DEAREST DAD
ぼくの私の 大好きパパ

全国のパパ 募集中!

地元の市民吹奏楽団で団長をしてい るパパの浜崎亮次さん(32才)。本 人は、子どものころ個人のピアノレ ッスンに通っていたようで、「音感を 育てるならヤマハ」と、小1のお姉 ちゃんと幼児科2年目の華ちゃん(5 才)をヤマハに通わせています。「練 習で下の子はまだ手がかりません。 家でみるのは、これからかな」との こと。「何の楽器でもいいから、音楽 を楽しめる人に育ってほしいです」。



Q & A ABOUT YAMAHA
ヤマハ音楽教室 にまつわる そばくな疑問



Q. お友だちと競争して 復習より予習を したがりですが……。

(神奈川県 ぶちぶちさん)

A. 予習よりも これまでの復習に 力を注いで

前向きな気持ちで意欲的に取 り組んでいて、すばらしいです。 耳の力を大切にしているこの時 期は、レッスンで先生の演奏をま ねて歌ったり、弾いたりすること で音感を身につけていきます。

自分なりの弾き方で弾いてしま うと、後になってからは直すこと が難しく、レッスンで混乱してし まう可能性もあります。
弾くことに意欲的であれば、習 った曲を繰り返し弾いてみましょ う。弾けるようになった曲をさら に弾くことで、この時期に大切 な音感の確実な定着につながり ます。

新しいことは おたのしみ



Q. 幼児科修了後は グループと個人とどちら がいいですか?

(東京都 大塚安希さん)

A. その子に 一番合った選択を してあげて

グループレッスンでは、ソル フェージュ、アンサンブル、レ パートリーなどを通して、相手 を尊重し刺激を受け合いながら、

認め合う力などを育てます。

一方個人レッスンでは、生徒 のペースに合わせたきめの細か い指導で、演奏表現を磨くため の技術を伸ばします。

児童期のコースでは、グルー プやグループ個人併用・個人レ ッスンなどご要望に応じて選択 できる5つのコースをご用意して います。

各コースのくわしい特色につ いては、ヤマハ音楽教室ホーム ページをご確認ください。

じっくり 考えてみて



Q. DVDを 見ることはどんな 効果がありますか?

(大阪府 ぼぼすけさん)

A. 次のレッスンの 準備にもなるので ぜひ自宅で活用を

DVDは家庭用教材として制

作されており、家庭学習の際に、 お子さんにとつても保護者の方にとつても手助けとなるツールです。 親子で繰り返し視聴することで、 レッスンに対するお子さんの期待 感がふくらみ、次のレッスンへの 興味や意欲的な参加を促します。 例えば、ゲーム的な参加を促し、 プロチ を盛り込むことで鍵盤のルールに 親しむことができたり、映像表現 を通して楽しみながら楽譜に興味 が持てる工夫がされています。 ぜひお子さんと一緒に楽しく視 聴してみてください。

親子で一緒に 楽しもう



ご意見・ご感想 お気軽に お問い合わせください

ヤマハ音楽教室 お客様コミュニケーションセンター
0570-075808
月曜～金曜 9:30～17:30
(祝日・年末年始・夏季休業を除く)

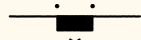
※「ヤマハ音楽教室ホームページ」か らもお問合わせを受け付けています。
<http://faq.yamaha-ongaku.com/as/scope1/yamaha-mf/web/>

PURATOMO FRIENDS
ぶらトモのゆかいな仲間たち



シャープ

きれものの
シャープくん
いきおいよく
なにごともし
てきぱきとこなす



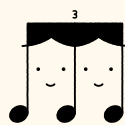
全休符

ほんわか
ホール・レストさん
ものしずか
きがつけば
ねていることも



二分の二拍子

たよれる
アラ・ブレーベくん
みんなのおにいさん
おきなおはなが
とくちょう



三連符

いつもいっしょの
トリプレット姉妹
おっちょこちょい
きをつけても
ころんじゃう

＼ おじゃましました！ ／

隣のヤマハ音楽教室！

今号は
東京都！



今回訪れたのは、前川絃子先生（写真後列右から4番目）が教える幼児科1年目のクラス。このコーナー初の東京での取材です。今日教えているのは、9名のクラス。男の子5名、女の子4名で、「とても元気で活発なクラスです。おんがくなかよしコースから一緒にメンバーも半分くらい。どの子も大きな声で元気よく、お母さんお父さんも歌ってくれます。みんな歌がすごく好きなんです」と前川先生が言うように、レッスン中は、楽しそうな歌声が響きます。「レッスンでは、歌ったように弾けるといいね、とよく言っています。これから両手奏の壁もありますが、一人ひとりに合った具体的なアドバイスを心がけていきたいと思います」。

松栄楽器店
高田馬場センター

東京都新宿区高田馬場 1-26-5 F・1ビル7F



(右)センター内にはレッスン室がたくさん。
(左)高田馬場駅のシンボル、ピックボックス。

EASY HANDMADE
簡単手作り

〔第2回〕封筒しおり

さんでも！
ぶきゅちよ



<材料>

封筒/好みのシール

<作り方>

- 1.封筒の角を正方形になるように切る。
- 2.1の角を片側だけ直角三角形になるように内側に折り込む。
- 3.角にシールなどでデコレーションする。

＼ POINT ／



片側だけ内側に折り込むことで、しおりになります。



HOME PAGE

ヤマハ音楽教室
ホームページを
リニューアルしました！



情報をチェック！



ヤマハ音楽教室では、ホームページ内の、生徒・保護者の皆さん向けのページを「教室だより」としてリニューアル！レッスンに役立つ情報や、お楽しみコンテンツなどをタイムリーに更新していきますので、ぜひご覧ください！

TEACHER

みんなの先生



この道ひとすじ

鈴木あゆみ先生

(ヤマハミュージックリテイリング 飯塚センター)

3才から短大1年までヤマハに通い、短大の音楽科を卒業後にヤマハの先生に。「個人も習っていましたが、アンサンブルが大好き。ピアノは水墨画。エレクトーンはパステル画というイメージです」。小さいころは、自分の気持ちを言葉にするのが苦手で、音で表現できるのが楽しくて、エレクトーンが大好きになったそう。生徒のピアノの音色で、その日の調子がかかる時も。「音楽を教えるだけでなく、音楽を通じて、心を通わせられる先生になれたらと思います」。

HUMOROUS POEM

おもしろヤマハ川柳

*

テーマ

「子育てあるある!!」



一年目

愛知県 ゆーみんのママさん

終わる日が
すでに寂しい

大威張り

神奈川県 MTさん

「弾けるよ!」と
得意な曲だと

くちずさむ
ドレミファソラシ
ここちいい

千葉県 はるさん

編集後記

今回、表紙にはフラットが描かれていますが、僕はシャープよりフラットの方が好きです。人生、フラットでいきたいと思います。(アートディレクター 寄藤文平) / 最近、某ロックバンドの某氏が好きすぎて、電子ピアノを購入。しかし道のりは遠いです。(編集&ライター 長谷川 華) / 以前、娘同士が同じ音楽教室で、今は遠方に住むお友達家族と半年ぶりに再会。娘達の「またアンサンブルやりたい〜!」に音楽の醍醐味を感じました。(ヤマハ音楽振興会 ぶらトモ編集部 F)

ぶらトモ Vol.12 2017夏 平成29年6月20日発行 通算12号

撮影: 森安 照 (加羽沢さんインタビュー、特集部分)、

中島 勉一郎 / アフロ (特集部分)

ヒロミーナ (特集部分)、鈴木江実子 (手作り部分)

手作り制作&スタイリング: すずき 尋巳

アートディレクション: 寄藤文平

デザイン: 三浦裕一朗、神保雄大 (Mo-Green Co.,Ltd.)、

窪田実莉 (文平銀座)

文: 下関 崇子、長谷川 華

企画・編集協力: 孫のカククリエイティブ (株式会社トド・プレス)、
長谷川 華

印刷: 大日本印刷株式会社

発行所: 一般財団法人ヤマハ音楽振興会

〒153-8666 目黒区下目黒 3-24-22 ☎ 0570-075-808

発行人: 三木 渡

次号は
9月発行です



WANTED

『アンケート&お便り』募集!

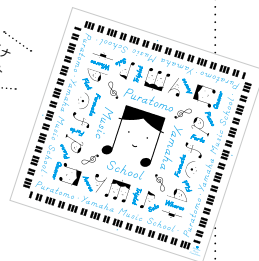
『ぶらトモ Vol.12』の記事について、みなさんのご感想、ご意見を募集中です。『ぶらトモ』と一緒に作ってくださる『ぶらトモ隊』への応募もこちらから!

1. 今号に関する感想
2. ヤマハ音楽教室や子育てに関するエピソード
3. ヤマハ音楽教室にまつわるそぼくな疑問
4. ぼくの私の大好きパパ
5. 子育てあるある川柳
6. モニターさん

を募集しています。応募は以下のアドレスかQRコードから。
<https://jp.research.net/s/KBFBPST> (応募は8月末日まで)



素敵なバンドナ
プレゼント



【個人情報について】

いただいたお名前、ご住所、ご連絡先などは、誌面掲載のご連絡やプレゼントのお届けに必要な情報の確認に使用し、その他の目的では使用いたしません。